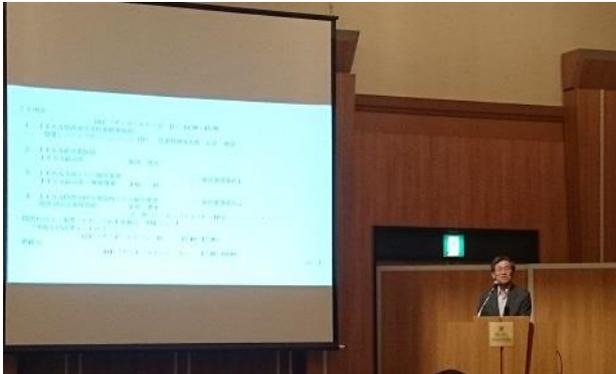


関西地区会・外国人材活用事例紹介イベント 開催



平成30年7月3日、ホテル阪神において、関西地区会(代表幹事：山元康裕／関電システムソリューションズ(株) 代表取締役社長)の例会と関西地区会・業界プレゼンス向上委員会共催の外国人材活用事例紹介イベント「外国人材活用イントロダクション」を開催した。参加者は例会41名、イベント78名。

関西地区会例会は山元代表幹事の「6月の地震では、IT技術が安否確認やエレベータの管理などいろいろなところに使われていることを実感し、今後ますます浸透していき、我々の活躍の場が広がっていくと改めて感じた。」という挨拶で幕を開けた。

続いて島田俊夫副会長が、地震のお見舞いを述べた後「DXーデジタルトランスフォーメーションについては、マイナス面も意識しながら活発に議論していきたいと考えている。本日は業界プレゼンス向上委員会との共催イベントを行うが、関西地区会の皆さんにJISA全体の活動に参画していただき、一緒になって業界の発展を目指していきたい。」と挨拶した。

来賓及び幹事の紹介に続き、JISA小脇一朗副会長・専務理事が、JISA/DI調査の結果から景気の方向感を示した後、平成30年度の活動計画(「JISA Spirit」の具現化への道筋、活動体制と重点取組事項)について説明した。また、ASOCIO 2018の開催、中国ソフトウェア産業協会との交流再開などのJISA活動のトピックス、IoT投資の抜本強化やIT導入補助金の拡充など政府の新規施策について報告した。

最後に、関西地区会事務局から平成29年度の活動報告と平成30年度の活動計画の説明があり、地区会例会は終了した。

休憩を挟んで、外国人材活用事例紹介イベント「外国人材活用イントロダクション」を行った。

はじめに、業界プレゼンス向上委員会 幸重孝典委員長から「このイベントを、当業界にとって重要なテーマであるグローバル人材



の活用を考えるきっかけや、課題解決のヒントにしてほしい。」と挨拶があった。

まず、厚生労働省 職業安定局 外国人雇用対策課 調整係長 大島恵太氏 から「外国人労働者の現状と外国人留学生の就職支援等について」と題して、外国人労働者を巡る状況について広範な解説があった。

続いて(株)シーエーシー 経営統括本部 人事部 前田宏美マネジャーから、人材活用のポイントや活躍の事例など挙げながら、積極的に外国人材の活用を推進している同社の取組について紹介があった。



JISA 会員企業で活躍する外国人パネリスト 4 名によるパネルディスカッションでは、日本で働くことの魅力や働きにくいと感じる点、日本人の働き方をどう見ているかなどについて率直な意見が交わされた。



左から、モデレータ 杉村元規氏（採用部会長）、リュウ ヒン氏（関電システムソリューションズ(株)）、ホセ マヌエル ガルシア メンドザ氏（(株)シーエーシー）、マクレーン エドワード氏（同）、フレデリクソン ローゲル氏（(株)インフォメーション・ディベロプメント）

（赤尾）